

山前小学校だより

も お か や ま ざ き
真岡市立山前小学校
令和4年度 第6号
2022.10.20
HPもご覧ください



秋本番、好きな本を見つけよう



10月も半分が終わり、コスモスの花が盛んに咲き競っています。校庭では栃の実やドングリを拾う子供たちの姿が見られ、正に「実りの秋」本番です。朝晩はめっきり寒くなり、紅葉が楽しめる季節もすぐそこまで来ています。

秋本番のちょうど今頃は、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、“〇〇の秋”という言葉を目にします。そのような中、本校では、10月27日から始まる「読書週間」期間中の11月7日(月)に「読書まつり」を行うほか、子供たちが本に親しむための様々な取組を行います。そこで、この秋、ご家庭でも「読書の秋」を楽しんでみてはいかがでしょうか。ここで少しだけ県の取組である「家読(うちどく)」をご紹介します。

Q1 「家読(うちどく)」って何？

A1 家族や身近な人と本を読んで感想を話し合ったり、好きな本を勧めたりすることでコミュニケーションを図り、家族の絆を強める取組です。

Q2 何をすればいいの？

A2 「家読」に難しいルールはありません。家族や身近な人と本を楽しむことができれば、それが「家読」です。

例えば… ○ 家族に本を読んであげる

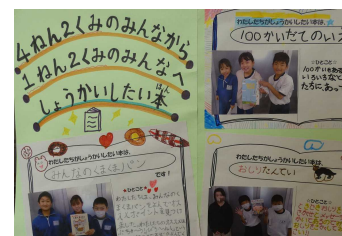
○ 自分のおすすめの本を家族に教えてあげる

○ 家族と同じ本を読む

○ 読んだ本の感想を家族みんなで話し合う

○ 家読の日(時間)を決めて、みんなで読む

など



それぞれのご家庭に合った「家読」スタイルを作ってみてはいかがでしょうか。

全力は、かっこいい!

R4運動会、いよいよ10/22(土)開催!!

スローガン

「山小国体 仲間とともに 本気で勝負」

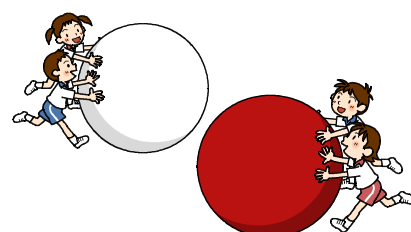
10月22日(土)は、運動会です。本番が近づくにつれ、練習にも熱がこもっています。子供たちが汗をかき歯を食いしばって練習している姿、教え合いながら一生懸命に頑張る姿を見ていると、思わず涙がこぼれそうになります。このような感動は、子供たちのひたむきな姿から生まれるものです。

紅白で勝敗を競うわけですから、必ず勝ち負けがあります。勝つことを目指して必死に頑張ることは大事なことであり、負けた悔しさに涙が出てくるくらいに、気持ちを込めて全力で頑張りたいと思います。でも、最も大事なことは、勝っても負けても「全力を尽くす」ことです。

運動会に向けては、子供たちに「全力を尽くすことは素晴らしい」「最後まで頑張る姿はカッコイイ」という気持ちをもたせたいと思っています。苦しくても、頑張ったことを認めてもらえた子供は達成感を感じます。達成感自信や意欲につながり、自信や意欲をもった子供はまた次の活動で一生懸命頑張る、また達成感もちます。自信→意欲→達成感→自信…というサイクルを経ることで、子供たちは成長します。

このように運動会は、子供たちの心根を深くし、心の中の土を耕し、肥料を与え、子供たちを大きく成長させる絶好の機会です。

運動会では、頑張る子供たちに保護者・地域の皆様の温かいご声援と惜しみない拍手をお願いします。そして疲れて家に帰ったお子様に対して、最大限の褒め言葉をかけてあげてください!



◇水沼選手との交流会 9/20

水泳の世界選手権男子100㍎バタフライ銀メダリストで「いちご一会とちぎ国体」の同種目で優勝した本校卒業生水沼尚輝選手が来校し、子供たちと交流しました。水沼選手から「これから大きな夢に向かって、どんなことにも負けずに全力で頑張ってください。いつか世界の舞台で会いましょう。」と励ましの言葉をいただきました。



◇稲刈り体験 9/30

秋晴れの中、4・5・6年生が稲刈りを行いました。5月に植えた苗がすくすく育ち、見事な黄金色の稲穂に育ちました。鎌を上手に使い、ていねいに刈り取りました。今年もたくさんのお米を収穫することができました。お手伝いいただいた保護者・地域の皆様ありがとうございました。



◇国体観戦 10/3

5・6年生が真岡市総合運動公園陸上競技場で「いちご一会とちぎ国体」の少年男子サッカー（長野県対宮城県）を観戦しました。子供たちは、両チームを応援し、惜しみない拍手を送っていました。国体観戦をきっかけに郷土愛が育まれ、スポーツに関心をもってくれたらうれしく思います。



◇修学旅行 10/13～14

6年生が福島県に修学旅行に行ってきました。一日目にアクアマリンふくしま、あぶくま洞、二日目に鶴ヶ城、飯盛山を見学しました。今回の修学旅行では福島県の歴史や文化だけでなく、友情や礼儀など様々なことを学んだことと思います。今後の学校生活に生かして、更に成長して欲しいと思います。



咲かせよう笑顔
つくろう思い出
やっちゃんえ！最高の修学旅行♪
～in Fukushima～



☆職員紹介 ICT支援員 谷田部 澄子先生

谷田部先生は、月に2～3日程度勤務し、タブレット端末の不具合解消などのメンテナンスだけでなく、授業にも参加して子供たちの操作の補助をしてくださったり、職員の質問や要望に対応してくださったりしています。

